

えひめ

RUGBY



No.7-DEC・1986

愛媛県ラグビーフットボール協会

松山銘菓

薄墨羊羹

流込羊羹



薄墨桜に因んだ

色と佳香、

心かよつ老舗の味。

吟味した上質の小豆を

伝統の技で

練り上げた逸品。

上質の茶の香と

あつさりとした後味の

よい風味は、

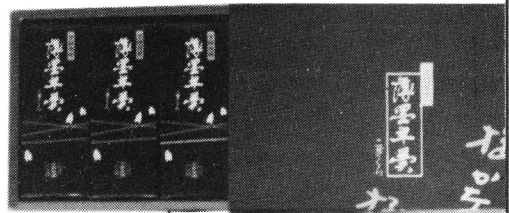
四季をとわず

どちらさまにも

喜ばれております。

まごころを銘菓に託した伝統の味

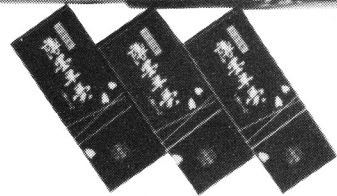
薄墨羊羹



薄墨羊羹

まごころ

伝統の味を可愛く包みました。



(株)中野本舗

松山市大街道1丁目 ☎(0899)43-0438(代)

目 次

かいじ国体を顧みて	
全愛媛少年 健闘して9位	井手 盛章 (2)
主将の責務を果たして	星野 雅隆 (3)
第一回中四国中学ラグビー大会愛媛県予選	(4)
戦 評	
第34回愛媛県選手権大会	(8)
第37回全国大学地区対抗県・四国・中四国予選	(8)
第17回全国高専大会四国地区予選	(8)
第66回全国高校大会地区・県予選	(9)
コーチング	
少年ラグビースクールの指導者として	山崎 祐藏 (13)
菅平に思うこと ―指導者としての勉強―	篠原 正文 (14)
県スポーツ功労者賞の榮譽を賛える	(15)
観覧席から	
卒業生から後輩のラガーへ一言	(16)
協会だより	
安全対策・ルール改正等の指導者講習会	(18)
選手強化対策委員会の設置	(18)
戦 績	(20)
編集後記	(24)
☆表紙写真 愛媛思惑クVS大阪惑々ク 矢野勝美氏提供	



61.10.5. 県リーグ戦 住友重機 ― スレッド

かいじ国体を顧みて

昭和61年10月12日、山梨県で第41回国民体育大会（秋季）が開催され、全愛媛少年が出場した。一回戦は地元山梨と対戦したが惜敗。復活戦で石川と戦い圧勝して9位を確保してくれたことは、少年単独出場という氣勢の上らなかった本県ラグビー界にとってせめてものなぐさめであった。チーム強化の経緯や本戦での健闘ぶりを、少年チームのコーチと主将に振り返ってもらった。

全愛媛少年 健闘して9位

全愛媛少年コーチ 井手盛章

少年の全愛媛代表を決定して約3か月の間、都城高（宮崎）との合同合宿、広島工業高、報徳高、天理教高との遠征試合、あるいは土曜、日曜を利用しての強化練習会等を行ってきた。これら一連の強化策によって徐々にではあったが、各選手達が着実に力をつけてきた事は確かであった。そして打倒山梨を合言葉に「かいじ国体」に臨んだのである。

一回戦・対全山梨戦 地元の強化は本県を上回るものがあり、全山梨の選手達には「絶対負けられない」という意気込みがグラウンドから伝ってくるような感じがした。全山梨の先蹴で始まった立上り、全愛媛は山梨陣内22mまで攻め込み、パントを使って相手ゴールへなだれこもうとしたが、や、コースが深くドロップアウト。このような場面が2度、3度と重なり遂にトライを奪うに至らなかったことは痛かった。その直後、全山梨のFB参加のライン攻撃にディフェンスがかわされ、中央に先制の得点を許してしまった。しかし全愛媛もPGを返し、3-6のまましばらく一進一退が続いた。その後、今度はラインアウトからFW、BK一体となった全山梨の攻撃にディフェンスが振られて中央にトライされ、前半終了直前にも2本のPGを追加されて3-18で折り返した。

後半に入ると山梨FWが前半を上回る動きを見せはじめ、6分、15分とモールサイドを突かれ勝負はほぼ決まった戦況となった。しかしこの後、愛媛の猛攻が続き22分、スクラムサイドを岡田が突き山辺に繋いで右中間に飛び込み、遂に一矢をむくることができた。この間の愛媛の攻撃は見事であり、若しも前半にこのような動きができていれば、あるいはと思わせるものであった。結局、前半の失点が返せず24-7で敗退したのであるが、またも前半に勝ちパターンがつくれなかった一戦であった。

9位決定戦・波に乗り圧勝 これに負けたのでは帰れないという気持ちで全員が全石川戦に臨んだ。全石川の先蹴で始まったが立上りからFWが優位にたち、楽な展開になるかと思われた瞬間、キャッチミスからのこぼれ球をドリブルされて右中間に押さえられた。またもや愛媛の悪い面が出たかと不安感が走った。しかしFW戦で優った愛媛は15分、岡田のサイド攻撃で同点とした後は波に乗り、オープン攻撃からの中村、松本とトライを重ね、前半リードで折り返した。

後半になってからも愛媛は攻撃の手をゆるめることなく、多彩な攻め込みをみせて次々とトライを重ね、43-6と圧勝、9位を確保した。

早期に計画的強化を 今年の全愛媛は新田13人、城南4人、北条3人、松山西1人の混成チームであったが、練習を重ねることによってチームワークも強まり、春の頃のレベルからみると急速に技術も向上していったと考えている。その実績からいっても今後、早期の計画的強化を図ることができれば、何とか全国レベルに立ち打ちできるチームがつけられるのではないかとと思われるのである。

主将の責務を果たして

全愛媛少年主将 星野 雅 隆

7月下旬、国体メンバーの選考会で30人が選ばれ、8月に入って新田高13人、城南、北条、松山西から8人という混成の代表メンバー21人が決定した。9月に入ると早やくも国体予選—ミニ国体が始まるので、この間にうまくコンビネーションが合うのだろうか懸念すると同時に、主将として責任の重大さをひしひしと感じる毎日であった。ともかく悔いが残らないように最善を尽くすのみであった。そして毎週土曜、日曜に紅白戦が繰り返し行われ、どうにかチームがまとまってきたのは秋風の吹く頃であった。

9月5～7日、高知で国体四国地区予選が開催された。一回戦は全香川戦で32—6と大勝したが、試合内容は満足のいくものではなく、反省点の多い試合であった。やはり急造の混成チームの粗さがまだ残っていたのである。

決勝戦は予想していた通り全徳島が対戦相手となった。前半2トライを取り、これはいけると思った時に油断があったのだろうか、前半の終了間際にトライを許しゲーム展開はガラリと変わってしまった。そして後半早々にまたトライされて同点に追いつかれてしまった。この時は負けるのではないかと不安感がつり、後半の20分間は全く相手のペースで、とても苦しい試合展開であった。ようやく何とかゲームを立て直して相手ゴールまで攻め込み、相手ラインアウトのボールを奪ってから後は、全愛媛のペースとなり次々トライを重ね、28—12で国体出場権を獲得したのである。

この対徳島戦を振り返り主将として強く感じたことは、自分達チームに必要なものは**自らを勢いに乗せる雰囲気づくり**だと気づいたことである。それから本大会までの一か月間、都城高との合同合宿、広島工業高、報徳高、天理教高との遠征試合等を行い、技術の向上とともに自らをふるい立たせ、勢いに乗るといふ精神面の強化にもお互いに努力したつもりである。そして一回戦は開催県の地元全山梨と決まってからは全員の意気が一層高まったことを感じたのである。

全山梨戦に賭けたが24—7で惜敗。チーム編成以来チーム全員がこの初戦突破を目ざして全力を尽くしてきたが、前半勢いに乗れず大量の失点を取り返せなかったことなど、悔いが残ったことは歪めない。その後の対全石川戦で圧勝して9位を確保し、「かいじ国体」に向けての全ての活動が終わったが私はもちろんのことチーム全員にとって、学ぶことの多い貴重な体験であったことと思う。



(愛媛新聞社提供)

監督	福沢 敏夫 (新田 高教)
コーチ	井手 盛章 (松山西高教)
	河野 大助 (松山城南高教)
選手	
	西永 和成 (新田 3年)
	城島 近正 (新田 2年)
	水谷 哲彦 (城南 3年)
	山本 幸三 (新田 3年)
	脇村 毅 (北条 3年)
	一色 隆 (新田 3年)
FW	篠崎 賢治 (北条 3年)
	門田 英典 (新田 3年)
	福山 誠二郎 (新田 3年)
	渡部 哲夫 (新田 3年)
	永井 一彦 (城南 3年)
	山辺 省憲 (新田 3年)
	岡田 英二 (新田 3年)
	新瀬 文久 (新田 3年)
	星野 雅隆 (新田 3年)
BK	中村 仁 (新田 3年)
	菊川 満隆 (城南 3年)
	大森 英己 (城南 3年)
	松本 彰夫 (松山西 3年)
	山形 佳彦 (北条 3年)
	池田 茂幸 (新田 3年)

第一回中四国中学ラグビー大会愛媛県予選

愛光Aが優勝 2位内宮 3位勝山

県内に中学ラグビーが誕生して一年が経過したが、毎年正月に花園ラグビー場で開かれる関西中学ラグビー大会への出場を来年度に展望するための第1回中四国中学ラグビー大会県予選が開かれた。これは今年に関西中学ラグビー大会予選への出場が諸般の事情によって不可能になり、それに代って兵庫を除く中四国の中で、愛媛県以外に中学ラグビー部が結成されている広島県チームと優勝を争い、来年度の関西中学ラグビー大会出場を旨とする目的で開かれたものである。

試合は11月1日から12月13日までリーグ戦方式で約1か月半にわたって開かれた。その戦果は愛光中学Aが接戦を勝ち抜いて全勝で優勝、2位には今春チームを結成し躍進めざましい内宮中学、3位には勝山中学がそれぞれ入った。この結果、愛光中学Aが愛媛県代表として中四国大会への出場権を獲得したが、中国代表棄権のため愛光Aの優勝が自動的に決った。

順位	チーム名	区分	愛光A	内宮	勝山	雄新	愛光B	勝	敗	得	失
1	愛光中学A			○10-8	○16-12	○18-8	○26-4	4	0	70	32
2	内宮中学		●8-10		○16-9	○22-4	○14-0	3	1	60	23
3	勝山中学		●12-16	●9-16		○16-4	○(不)	2	2	37	36
4	雄新中学		●8-18	●4-22	●4-16		○18-4	1	3	34	60
5	愛光中学B		●4-26	●0-14	●(不)	●4-18		0	4	8	58

(試合はすべて20分ハーフ)

第1日 11月1日 愛光学園

愛光中学A 26 $\left(\begin{smallmatrix} 4-0 \\ 22-4 \end{smallmatrix}\right)$ 4 愛光中学B

1、2年生主体でチーム編成をした愛光Bの力不足は否めず、愛光Aに大差で敗れた。

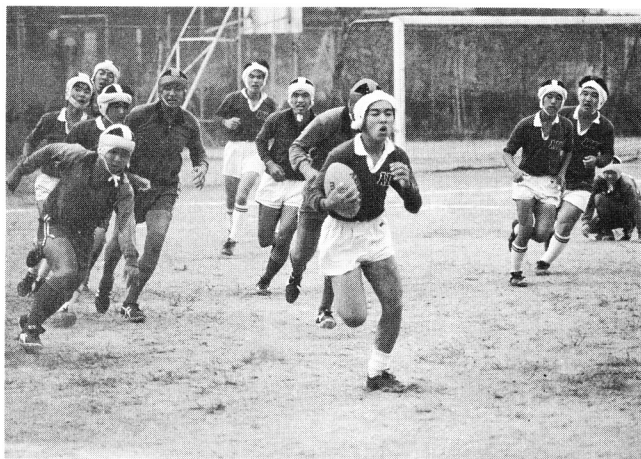
前半は愛光Aの攻撃が形にならずなかなか得点できなかったが、13分、愛光Aは相手SOのキックを

左WTB戸田が受けCTB宮地にパスし右中間トライし4-0とリードした。後半になって愛光Aは攻撃がリズムに乗り2分、No.8岩尾がトライした。これに対し愛光Bは10分、22m付近のスクラムから左オープンに回しCTB西川がトライ8-4と反撃に移ったが続き、逆に愛光Aに12分繁本、15分、上原、16分近藤、19分国枝とトライを許した。

第2日 11月3日 愛光学園

愛光中学A 18 $\left(\begin{smallmatrix} 10-0 \\ 8-8 \end{smallmatrix}\right)$ 8 雄新中学

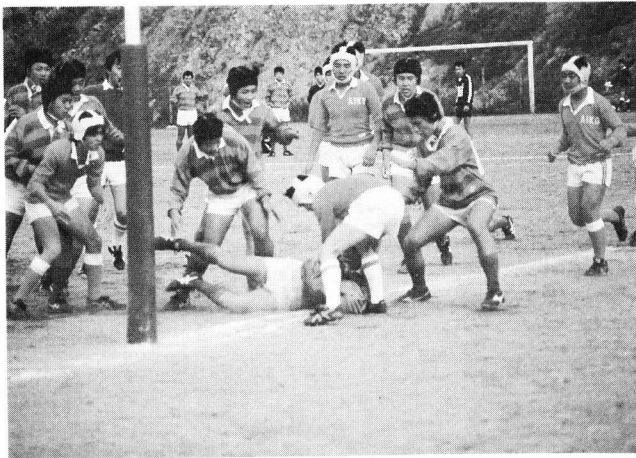
雄新中は開始直後のキックオフボールを受けたFW和田がタックルされ脳震とうを起して退場するアクシデントに見舞われた。先制したのは愛光Aで7分ゴール前スクラムを押し込みコボレ球をSH山崎がトライ。18分にも右WTB近藤がトライ、ゴールも成って10-0とリードした。後半に入って雄新の動きがよくなり、4分、ゴール前でSO田村が左WTB宮田に好パスを送りトライ10-4と反撃に入った。しかし愛光Aも6分、WTB近藤がトライし突き放せば17分、今度は雄新が22m付近のモールから右に回し菅野がトライするなどしたが雄新の力が一歩及ばなかった。



第3日 11月9日 愛光学園

愛光中学A10($\frac{4-4}{6-4}$)8内宮中学

事実上の優勝を争う対戦はノーサイド直前に同点トライ、ゴール成功で大逆転をした愛光Aに軍配があがった。試合はまず前半5分、愛光AのFW小池がゴール前のモールから持ち出し右スミにトライして先行した。しかし内宮は7分、ゴール前のモールから左に回しFB柳原が左中間トライ、同点とし、前半4-4とした。後半になって7分、内宮はゴール前スクラムを押込み左フランカー峯岸が左中間にトライ逆転した。試合を捨てない愛光はノーサイド直前の20分ゴール前のモールからFW植木がサイドを突き同点トライ、上田のゴールも決まって大逆転となった。



第3日 11月9日 愛光学園

雄新中学18($\frac{10-4}{8-0}$)4愛光中学B

総合力で優位に立った雄新だったが、試合は愛光Bが先行する形ですすみ興味をわかせた。前半2分愛光Bは右WTB島袋が右スミトライ4-0とリードした。この快挙に雄新は暫らく攻撃の組み立てができなかったがやっと11分SH大倉が右中間にトライ同点とした。さらに18分にも左フランカー富田が左中間トライゴールも成って10-4と差を広げた。後半になっても雄新のペースですすみ6分、10分といずれも左フランカー富田が巧い個人技を生かしてモールサイドをくぐり抜けトライを連取、すっかり戦意をなくした愛光Bに快勝した。

第4日 11月16日 愛光学園

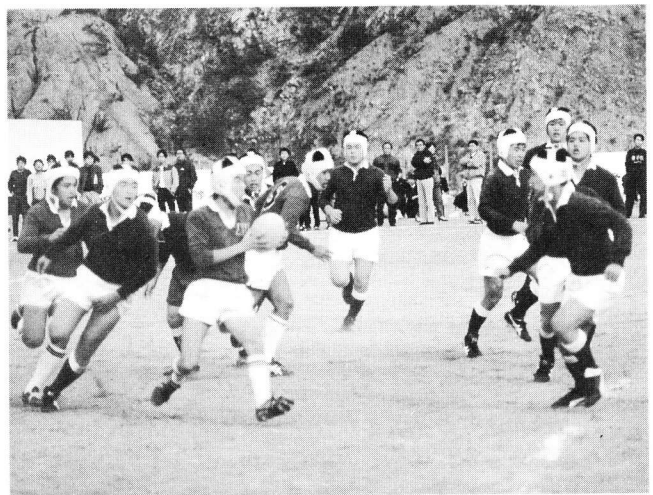
内宮中学14($\frac{10-0}{4-0}$)0愛光中学B

総合力で力を持つ内宮だったが、若干メンバーを落して編成したこともあり、得点差はあまり開かなかった。前半11分、内宮は相手ボールのスクラムをとり右へ展開、右WTB薬師神がトライ4-0と先行。17分にもゴール前のコボレ球をCTB長谷川が拾ってそのままトライ、ゴールも成功して前半10-0とリードした。後半に入って内宮の攻撃が寸断されなかなか得点につながらなかったが、19分、22m付近のラインアウトから右に回し、右WTB薬師神がこの日二本目のトライを挙げ結局14-0で勝った。愛光Bは得点パターンにならず一方負けした。

第4日 11月16日 愛光学園

愛光中学A16($\frac{12-0}{4-12}$)12勝山中学

好試合だった。前半は早いテンポで愛光Aがトライを連取、このままのペースで試合が終るかに見えたが、後半に勝山が奪起。試合の行方を面白くさせた。前半4分、愛光AはラインアウトからFWが押込んでトライ、12分にもFW山崎、そして20分にはオープン攻撃で右WTB近藤がそれぞれトライ12-0とリードした。しかし勝山は後半になって7分、スクラムサイドをNo.8米田がとってトライ、ゴールも成って反撃。さらに12分にもNo.8米田が30m独走してトライ(ゴール)同点とした。粘る愛光Aは19分スクラムからNo.8岩尾-CTB宮地と渡り逆転トライを決めた。



第5日 11月22日 愛光学園

内宮中学16($\frac{12}{4}-\frac{0}{9}$) 9 勝山中学

内宮が先行、勝山が反撃したが及ばずの試合展開になった。内宮は前半5分ゴール前から右に回し右WTB石丸がトライ。10分にも石丸、15分にも石丸が三本目のトライを鮮やかに決めた。前半12-0と内宮がリード。後半になって6分、勝山が反撃に出てゴール前のラックからSH河辺がトライ、ゴールも成って12-6とした。しかし内宮は13分、左オープンに回しフォローしたFB野本がトライ16-6とつき放した。勝山は試合を捨てず、18分、オフサイドの反則からPGを成功させ16-9までせまったが時間切れとなった。



第6日 11月23日 愛光学園

勝山中学16($\frac{12}{4}-\frac{0}{4}$) 4 雄新中学

この試合までに愛光Aと内宮に敗れている勝山は雄新を相手に勝つラグビーに徹し、徹底したタックルを決め、雄新を僅か1トライに押えて初勝利をものにした。勝山は前半4分、No.8米田がサイドを突いてトライ。さらに11分にはSH河辺がこれまたモールサイドを抜けてトライ。17分には右オープン攻撃からCTB西川が右スミトライし前半を12-0とリードした。これに対し雄新はアタックを仕掛けたが勝山の鋭いタックルに攻撃が寸断された。さらに後半に入っても勝山は1トライを加え16-0とした。雄新は後半僅かに1トライを挙げ一矢を報いたにとどまった。

第7日 11月24日 県総合運動公園球場

内宮中学22($\frac{16}{6}-\frac{0}{4}$) 4 雄新中学

この試合の時点で愛光Aが優勝を確保したが、第2位争いは、内宮、勝山、雄新の三校で展開されていた。そしてこの混戦から抜け出たのが内宮で、雄新との試合をものにしての2位確保を果たした。

前半5分、内宮はPKからFW西岡が中央にトライ(ゴール)、9分にはCTB広瀬がトライ(ゴール)、さらに17分にも広瀬がトライし16-0とリード。後半になっても内宮は素晴らしい攻撃で3分、ゴール前スクラムからNo.8尾崎がもぐりSH山本-CTB中川とわたり中央トライ(ゴール)22-0と大きくリードした。雄新は17分No.8小林が右スミにトライして完敗を免がれた。

最終日 12月13日 愛光学園

勝山中学(不戦勝) 愛光中学B

第1回中四国中学ラグビー大会県予選を終えて

各校の監督に聞く

内宮中学部長 小川 敏

今春正式にラグビー部を発足させた。結果として第2位になったが最初の年としてはこんなものだ。FWはよくまとまり基本プレーができたと思っている。BKがオープンに回せるようなチーム作りを目指した。愛光Bとの試合あたりからリズムに乗れた。レギュラー全員が3年生だったが全ての力を出し切ったと思う。特にCTBの広瀬、中川や、SHの山本あたりは高校でも活躍しそうだ。

底辺拡大を云われているが県下の各中学校にチームが結成されることが望まれる。そのために協会の尽力をさらにお願したい。

来年は是非とも関西中学ラグビー大会に参加したいと思っている。内宮中学ラグビー部も大型FWになるので期待ができる。

愛光中学部長 日下正弘

愛光中学ラグビー部は60人以上の部員がいるので今大会にはA、Bの二チームを参加させた。Aは3年生主体、Bは1、2年生で編成した。ほとんどラグビーの好きな者だけで、Aはラグビーをよく理解していたと思うし、Bも少しはラグビーを理解できたのではないと思う。結果はAが優勝、Bは最下位になったが、Bを除いては各校の力は接近していたと思う。Aでは主将の上田を中心に岡、梶などがこれを支えチームプレーが出来た。Bでは主将の安田や仲松、日下、菅など大型選手が多く期待できる。

来年度にむけて是非とも県全体の中学ラグビーのレベルアップと底辺拡大を目ざし頑張りたい。中学総体の種目にラグビーを入れてほしい。現在の2年生に期待がもてるので関西中学大会に出場を果たしたい。

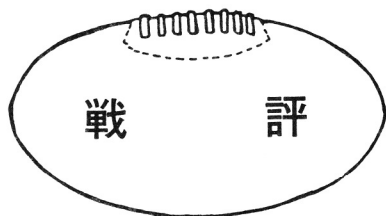
勝山中学部長 山内良正

3位になったが、練習期間が短かったのでやむを得ない。もう少し時間があれば良い成績をあげられたと思う。6分の力しか出せていない。勝山中はFW中心の試合展開でBKのハンドリングが悪かった。FWでは村上、北野、米田、BKでは西川が高校ラグビーでの活躍が期待できるし、他の選手も頑張ってくれるものと思っている。各校にチームが生まれることを期待している。今の中学生は体力は十分にあるがラグビーを知らない。協会や思惑の皆さんにはお世話になりました。来春は勝山中学と雄新中学の分離統合が予定されているので2年生以下の選手は3月を過ぎると約半数は新設の城西中学へ移るようになる。来年度は関西中学大会への予選参加を実現してもらって、これへの出場を目標としたい。

雄新中学部長 井上哲男

最下位になって確かに悔しい。しかし、土、日曜の練習だけでは仕方がないと思う。試合を振り返ってみると愛光Aと内宮との試合が惜しかった。今年の雄新中学には本当にラグビーの好きな生徒が集まったと思うし、それぞれ100%以上の力が出せた。FWではフランカーの日浦、富田、No.8の小林、BKでは大倉、田村、朝美らHB団の忠実なプレー、主将でFBの近藤はチームをリードし、教えた以上のことをやってくれた。高校でもきっと活躍してくれると思う。中学ラグビーにやっと灯がついた。この灯を消さないためにも県下の各校にチームを増やしてほしい。その点で指導者の養成が重要である。ラグビー経験者が他の競技種目の指導をすることは敗北主義である。協会には指導者の確立とレフェリーの養成をお願いしたい。





第34回愛媛県選手権大会

怒とう新田クラブ（1部）6連覇
2部は松北OBが初優勝

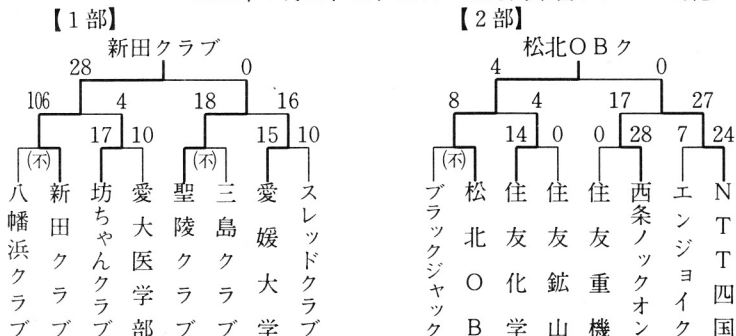
1986年6月15、22、29日 堀之内県営ラグビー場他

第34回県ラグビー選手権大会は6月15、22、29の3日間堀之内ラグビー場を主会場に16チームが参加、1、2部に分けて戦われた結果、1部では新田クラブが圧倒的な強さで6年連続7度目、2部では松北OBクラブが接戦をくぐり抜け初優勝を飾った。

1回戦 1部4試合のうち2試合が不戦勝となったが新田ク、聖陵クなどが順当に準決勝に進出。2部では着実に力をつけてきた西条ノックオンクラブが伝統の住友重機を破り、新進のNTT四国も1回戦を突破した。

準決勝 1部の聖陵ク対愛媛大は追いつ追われつつの接戦となったが聖陵クが辛勝、新田クは坊ちゃんクに圧勝。2部はNTT、松北OBが決勝進出した。

決勝 1部は新田クと聖陵クが対戦、FWの球出



しのうまさ、BKの走力に勝る新田クが前、後半3トライずつをあげ、聖陵クを圧倒ノートライに押し県リーグチャンピオンチームの貫録を見せた。2部の松北OBとNTT四国は互角の攻防が続いたが、後半27分、松北OBはFW井手が右中間に両チーム唯一の決勝トライをあげ競り勝った。

第37回全国大学地区対抗県・四国・中四国予選

県代表愛媛大 中四国代表決定戦で敗れる

愛媛県予選 松山商大、愛媛大の対戦によって県代表を決める決勝戦は、これまで挑戦する立場にあった愛媛大が今までの本学単独から医学部も加えたチーム編成を行い試合にのぞんだ。試合はFW戦で愛媛大が圧倒、前半3分、WTB井上、16分にSH田窪、後半16分にもFB乙川がトライ12-0とリードした。しかし松山商大も終盤に奮起、35分にFWがモールを押し込み辻野、40分にはNa8穴山がトライ、同点に追いついたところでノーサイド。抽せんの結果、愛媛大が四国大会への出場権を得た。

四国地区一次予選 愛媛大は徳島大と対戦したが前半は両チームとも決め手なく無得点、後半になっ

ても20分すぎまで得点がなく0-0のまま、で試合がすすんだが、25分、愛大SH田窪が左サイドを突破トライをあげ4-0の接戦で決勝進出を決めた。

四国地区決勝 愛媛大は高知大と四国代表の座をめぐって対戦、前半愛大が立て続けに3トライを奪って14-9とリード、そのま、マイペースで試合をすすめて30-13で中四国代表決定戦へ進出。

中四国地区代表決定戦 山口県代表の徳山大と対戦したが、愛大に攻撃の鋭さが見られず、徳山大ペースで試合がすすめられ、後半一矢を報いたものの20-6で敗れ、全国大会出場のを絶たれた。

第17回全国高専大会四国地区予選

新居浜高専が念願の全国大会初出場

第17回全国高専大会四国地区予選は、弓削商船、新居浜高専、阿南高専の三チームによるリーグ戦形

式で11月9、16、23日の三週にわたって行われた。ここ数年来力をつけ、昨年度優勝、四国地区代表

となり惜しくも中四国地区予選で敗退した新居浜高専はその勢いをもって試合にのぞんだ。第1日目は新居浜高専と阿南高専が対戦、昨年同様の好試合となったが、試合は新居浜高専が終始リード、阿南高専を1トライに押え18-4で1勝を挙げた。第2日目は阿南高専と弓削商船が対戦したが、ここ最近の弓削商船の力不足は克服できず24-4で弓削商船が

敗れた。最終日、この試合に勝てば優勝の新居浜高専は弓削商船をノートライの39-3で一方的に敗り二年連続二度目の優勝を飾った。そして今年度は四国地区の代表がそのまゝ、全国大会に出場できることになり、新居浜高専はチーム結成以来初めて全国大会に出場することになった。

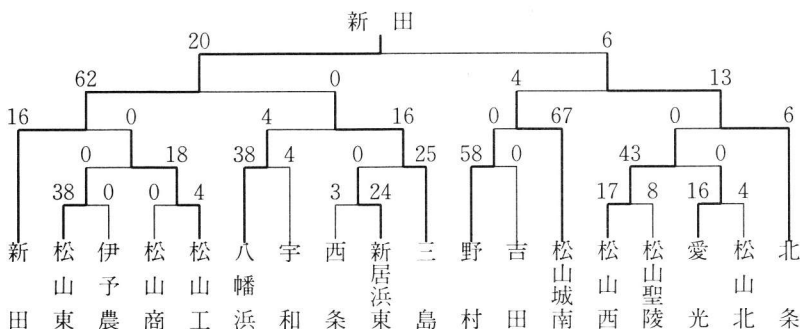
第66回全国高校大会地区・県予選

新田が9年連続27度目の全国大会出場

1986年10月5、26日、11月2、9、16、24日 堀之内県営、県総合運動公園他

【過去10年間県決勝記録】

- 昭51 新 田47-6 松山聖陵
- 昭52 松山聖陵28-16新 田
- 昭53 新 田25-21 松山聖陵
- 昭54 新 田50-4 八幡浜
- 昭55 新 田48-4 松山聖陵
- 昭56 新 田19-14 松山聖陵
- 昭57 新 田31-3 松山聖陵
- 昭58 新 田46-15 松山聖陵
- 昭59 新 田52-0 松山西
- 昭60 新 田24-4 松山西



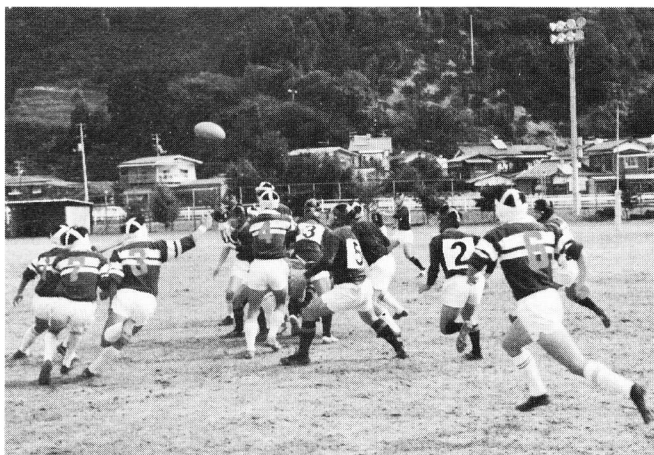
東予地区予選 新居浜東、西条、三島の三校が参加、代表一つの座をめぐって争われた。一回戦新居浜東が24-3で西条を破り、代表決定戦でここ数年来実力をつけてきた三島と対戦したが、FW、BKの総合力で優る三島が25-0で新居浜東を破り東予地区代表になる。

中予地区予選 新田、北条、松山城南の三校が推せんで県予選出場を決めたあと、松山西、愛光など残り八校によって二つの代表の座が争われた。一回戦四試合は松山西、愛光、松山東、松山工がそれぞれ勝ち抜き、代表決定戦では松山西が43-0で愛光を降し、松山工は18-0で松山東を破ってそれぞれ中予地区の代表の座を確保した。

南予地区予選 八幡浜、宇和、野村、吉田の四校によって二つの代表の座が争われたが、八幡浜38-4宇和、野村58-0吉田で総合力で上位の二校が南予地区代表を決めた。

県予選 それぞれの地区予選を勝ち抜いた三島、新田、北条、松山城南、松山西、松山工、八幡浜、野村、の八校が出場、県代表の座をめぐって熱戦が展開された。一回戦は北条が接戦をものにして松山西に勝った他は松山城南、新田、三島が順当勝ち準決勝に進出したが、松山工も新田に善戦

するなど好試合が目立った。準決勝は新田が三島を大差で破り決勝進出を順当に決めたものの、もう一つの北条-松山城南は1トライを争う好試合、最後まで余断を許さない展開となったが終了間際に北条がダメ押しトライを決め13-4で競り勝った。決勝は新田-北条の初対決となったが、試合は前半北条がリードして善戦、後半強力FWの新田が地力を発揮して逆転。9年連続27回目の優勝を飾った。



11月2日 南予地区予選 野村 - 吉田

1回戦 11月9日 伊予三島市総合運動公園

松山城南67($\frac{21}{46}-\frac{0}{0}$)0野村

松山城南は序盤反則が多く、また野村もよく動いて一進一退の攻防が続いた。しかし互角の展開も9分ごろまでで、10分、城南はラックから左に回してCTB池内がトライしたのをきっかけに、FWが徐々に地力を発揮、前半1PG、2トライを加えて21-0とリード。後半に入るとFWがラック、モールをボックスが自在に走って9トライ、5ゴールを奪い勝利した。野村は前半10分まで善戦したが、城南にトライを許してからはテンポの早い展開についてゆけず、特に後半に入るとはタックルも決まらず城南に大量得点を入れられて大敗した。

1回戦 11月9日 伊予三島市総合運動公園

三島16($\frac{0}{16}-\frac{4}{0}$)4八幡浜

八幡浜が先手を取ったが、後半三島FWが奮起、よく前に出て球を出し、3トライを奪って逆転勝ちした。前半6分、八幡浜は左中間15mのPK後のラックから右に中西—上村—山本秀ときれいにつないでトライ、4-0とリードした。しかし三島は後半3分、右中間スクラムから球を出してゴール前にキック、相手がこぼすところをFW、ボックスが突っ込んで、CTB山中泰が同点トライ、8分にもCTB高橋がインターセプトしてトライ逆転、さらに10分にはWTB井手が80m独走して中央に押さえ、勝利を決定的にした。

1回戦 11月9日 伊予三島市総合運動公園

新田16($\frac{10}{6}-\frac{0}{0}$)0松山工

松山工の善戦で試合は盛り上がった。前半10分過ぎまで互角の攻防が続き、新田はトライが奪えなかった。14分、左中間のモールからSH岡田が右サイドを抜け、CTB中村がフォロー、やっと右中間に押えた。新田はこのあとも松山工の激しいつぶしにあって攻めあぐみ、22分、渡部、小谷が縦に走ってトライを加えたが、前半のトライはこの2本だけ。

後半も新田は1本のトライを挙げたにとどまった。松山工は守勢一方だったが好タックルを決めて新田を苦しめ抜いた。FWの平均体重9kgの差を闘志でカバーしての善戦を賞めたい。

1回戦 11月9日 伊予三島市総合運動公園

北条6($\frac{6}{0}-\frac{0}{0}$)0松山西

ノーサイドの笛が鳴るまで勝敗の行方は全くわからない試合だった。両チームを通じての唯一のトライは思いがけないかたちから生まれた。前半2分、北条は中央線付近でFB岡本がキックを受けボールをはじきながらもフォローしたSO山形につないで中央にトライ。松山西は好ディフェンスを見せていたが北条のはじいたボールをノックオンと思いディフェンスをちゅうちょした。後半は両チームとも攻防戦を展開したがノートライ、28分松山西はゴール前5mまで攻め込み、二度、三度とスクラムからの攻撃を仕掛けたがトライ成らず惜敗した。



11月9日 三島—八幡浜

(愛媛新聞社提供)

11月16日

準決勝

北条 — 松山城南

(愛媛新聞社提供)



準決勝 11月16日 県総合運動公園

北条13 $\left(\begin{smallmatrix} 7-4 \\ 6-0 \end{smallmatrix}\right)$ 4松山城南

北条が前半、素晴らしい当たりで7-4とリード。後半の松山城南の反撃を懸命にこらえて逃げ切り初の決勝進出を果たした。FWがやや押しぎみの北条は前半3分、相手陣22m右ラインアウトのボールをロックの中西がとり右中間に先制トライ、17分にもFB山形が左中間30mのPGに成功7-0とリードした。これに対し城南は19分、5mスクラムからNo.8永井がトライ反撃に移った。後半はFWが奮起して城南が優勢に立ち再三の5mスクラムでトライを狙ったが北条の固いディフェンスに阻まれた。逆にノーサイド直前、北条はNo.8篠崎がトライ勝負を決めた。

決勝 11月24日 県総合運動公園

新田20 $\left(\begin{smallmatrix} 4-6 \\ 16-0 \end{smallmatrix}\right)$ 6北条

新田がFWの押しの強さ、球出しのうまさで北条を上回り、9年連続27度目の花園出場を決めた。しかし北条も捨て身のタックルで前半は新田をリードするなど苦しめ試合を盛り上げた。北条の大健闘が光った試合だった。新田は前半7分モールをFWが押し込んで先制トライ。しかし北条も17分、FB山

準決勝 11月16日 県総合運動公園

新田62 $\left(\begin{smallmatrix} 30-0 \\ 32-0 \end{smallmatrix}\right)$ 0三島

新田FWがスクラムでプレッシャーをかける一方ラック、モールを8分通り制して自在に展開、圧勝した。3分、新田は右中間スクラムから右に出したあと左オープンに回しWTB河内が左スミに押えた。6分SH岡田、10分にもFWの速い球出しからトライ、このあと4トライを追加前半30-0とリード。

新田は後半もFWが一方向的に押し勝って7トライ2ゴールを追加、実力差をみせつけた。三島の唯一のチャンスは後半15分過ぎ、PKから22mラインを越えてゴールに迫ったが、新田の堅いディフェンスにはね返されノートライに終わった。

形がインターセプト横本一尾崎とつないで右中間トライ、ゴールも成って6-4と逆転した。後半も北条の気力が充実試合を盛り上げたが、スクラムで強い新田は9分、No.8池田が逆転トライ、22、27、32分と連続トライを奪って決勝初出場の北条を退けた。

11月24日 県決勝

新田 - 北条

(矢野勝美氏提供)



スクラムサイドの激しい攻防

(愛媛新聞社提供)

コーチング

少年ラグビースクール の指導者として

松山少年ラグビースクール指導者 山崎 祐蔵

私がラグビースクールのお世話をするようになったのは昭和54年4月、伊予三島市から松山へ転勤で帰った時、スクールを指導していた安永さん（故人）に誘われたことから始まる。七回程松山を離れてラグビーから遠ざかっていただけに、早々とラグビーが出来るようになって嬉しかった。

毎週日曜日、9時から約1時間、堀之内ラグビー場で現在は幼稚園児から小学六年生までの62名が参加している。私は少年達を指導する立場にあるが、むしろ彼等と共にプレーをし、ラグビーを楽しんでいる。そして子供達の走る姿、ボールを追いかける時のあまなごし、彼等と接しているとき生きる喜びを感じるのである。

ときに云うことをきかない少年をどなりつけることがある。高浜の海育ちの私の声はよく先輩各位から大きい一とひやかされる。しかし、大きい声を張りあげることはストレス解消には打ってつけである。そんな大声の私の少年達に対する指導方針は「走ること」この一語につきると思っている。走ることによって身体と心を鍛えるのである。走ることは苦しい。この苦しさを乗り越えてこそ身心が鍛えられるものだと確信している。

少年スクールの指導者だからこそ味わえる喜びがある。その一事例としてA君の場合にふれてみよう。何かの参考になれば幸いである。

A君はスクールに入校したいとお母さんに連れられてきた。「この子は気が弱いし身体も貧弱で、いうこともきかない。ラグビーで何とかしてほしい」ということである。親にしてみれば子供がたくましく育ってほしいと願うのはあたりまえのことで、こんな

動機で入校する子供は沢山いる。

成る程A君はお母さんの話しのとおり、まことに何をさせてもドンくさいし、走ってもおそい。これでもものになるんかいなあと正直いって不安であった。しかし彼はただ黙々と一日も休むことなく、一生懸命の努力を積み重ねた。三年が経ち、五年が過ぎ去った。その後の彼はどうなっただろうか。何とたくましく成長し今は中学生となり、学校ではいかんなくリーダーシップを発揮しているのを見た時の感激はひとしおであった。さぞかしお母さんも彼の成長ぶりを喜んでおられることだろう。

私は少年達のたくましい成長を願い、オールジャパン級の出現を夢みている。スクールを巣立った子供達は沢山いる。今では高校生となり、大学生になってプレーをしている。私のヒイキ目かも知れないが、彼等のプレーには光りがある。少年時代に身体で学んだラグビーは、成長するに従い犠牲的精神が育ち、決してイジメッ子などにはならないものと確信している。社会に出ても他人には迷惑をかけない。ラグビーで培った協調性が発揮され、平和で明るいノーサイド精神で人生が送れるものと思っている。



ラグビーとは何と素晴らしいスポーツではないだろうか。そんな想いと将来の成長を夢みて、今日もチビっ子達と走っている私である。

菅平に思うこと

— 指導者としての勉強 —

三島高校監督 篠原正文

コートは緑のジュータン、それも安物ではなくフカフカの高級品で、スパイクがすっぽりと埋まってしまう程である。ここは菅平名物、渡辺才智記念グラウンド。目の前では法大対神鋼のゲーム。向う側の土手には「菅平スズメ」なるものが鈴なりである。何故私がここに立っているのか、その理由は約二年前の思い出にある。

私はラグビーに関しては全くの門外漢であった。小学生の時からずっと野球しかやることがなく、典型的な野球の虫だった。しかし幸か不幸か、60年4月から三島高ラグビー部の顧問を仰せつかったのがラグビーにのめり込む始まりであった。最初は部員主動型で練習していたが、次第に私の心の底にある何か MOZOMOZO と動き始めた。こうなるとどうにも止まらなくなるのが私の長所でもあり、短所でもあるらしいことは妻からよく聞かされている。どうせやるのならラグビーの専門家になってやろう。その日からあのややこしいルールブックや指導者とのつき合いが始まったのである。しかしどうにも理解できない部分が余りにも多すぎ、実際のプレーと関連づかないのである。自己流は基本があつてのものであり、まずは「私の指導者」を探さねばならなかった。こういう時、スポーツとは有難いもので垣根など何もないのである。すぐに三島ラグビークラブがその役を買って出てくれたのである。口では言いあわせない程お世話になった（…ing であるが）。山中、合田、藤田ほかの諸氏が三島クラブと高校の両方の面倒をみてくれることとなり、今までになかった夏合宿にも行かせ頂いた。

そして本年になってからは、松山の太西五郎先生をはじめ多くの協会関係の指導者が、遠路三島まで本校の指導に来て頂けるようになった。その

日以来、本校ラグビー部が変り始めたのが私の目にも映り出してきたのである。太西先生には特にラグビー精神について多く教えて頂いた。今も部室の壁に「内猛外柔」「強い心も弱い心も我が心」と書いて毎日部員が自分の心にいい聞かせている。私もまた指導者として多く学ばせてもらっている。

そんな時、山中氏よりラグビーを知るなら「菅平」へ行つて勉強せよとのことで、先の菅平行きとなったのである。太西先生に連れられ、夜行列車にゆられて着いた所が法政大学ラグビー部合宿所であった。OBの方々に紹介され、面映い気もしながら「いつか私の学校の選手をこの菅平へ送り出したい。」と自己紹介させて頂いた。

一週間弱の日程であったが、グラウンド巡りをし、「これがラグビーなのか」と思い知らされた。法政のほかにも大東文化大、明大、早大、日体大、京産大、近鉄、神鋼などの一流のプレーを目の当たりにし、解説をして頂いた。そんな中で、太西先生は常に基本の大切さを口にされていたし、神鋼の西窪部長、法政島崎監督も同様、心と技術の基本について教えてくださった。つくづく基本の大切さを教えられた菅平行であった。また選手達からは「技術よりも精神力だ」ということも習った。一体育人として基本の大切さは十分に知っているつもりだったが、こうして高いレベルのラグビーを見ながら感じる基本の大切さは、ややもすると自己中心的になりがちな私に、一つの大きな歯止めをしてくれたのである。

菅平を降りてから早いもので、もう二か月以上



経つが、今でも時々あの緑の渡辺グラウンドを夢に見ることがある。これ程強い印象を与えてくれた菅平。これからも毎年勉強に出かけたいと思っている。そしていつの日か、三島高ラグビー部のために力を注いでくださっている皆さんに恩返しをしなければならない。それが私に課せられた義務

だと自分に言いきかせ、これからも毎日グラウンドに立ち続けるつもりである。

指導者である私をはじめ、選手達に力を貸してくださった多くの方々にお礼申しあげるとともに、今後とも一層のご指導をお願いしたい。

県スポーツ功労者賞の榮譽を貰える

県体育協会（関 宏成会長）は、61年12月23日、61年度スポーツ功労者等の表彰式を挙行。ラグビー関係からは、スポーツ功労者賞に足立健三氏（協会顧問）が栄えある表彰を受けられた。氏のご功績を賛えお喜び申しあげる。

スポーツ功労者賞 足立健三氏



長年にわたって本県スポーツの普及振興に貢献した人に贈られる賞である。

足立さんの人生はまさにラグビーそのものである。本県にラグビーが誕生した翌年、昭和7

年に松中ラグビー部が創設されたがその年に入学し若冠1年生で入部したのがラグビー人生の始まりである。昭和9年第17回全国中学大会（現在の高校大会）四国地区予選の県決勝、対愛媛師範戦のメンバーにバックロー足立さんの名前がある。以後在学中はFWの巨漢プレイヤーとして、さらに卒業後は松山クラブに属して社会人ラグビーで活躍された。

戦後復員するや直ちに松山クラブに復帰しプレーを通じて、また母校の松中コーチとして後進の指導に没頭する毎日であった。当時の社会人ラガーの目標は国体出場であり、念願となった第5回名古屋国体（昭25）に全愛媛の主将となりロックで出場。27年宮城国体を最後に現役を引退、翌28

年の四国国体（松山）では全愛媛の監督として統率力を発揮された。この間、堀之内グラウンド（今の競輪場内）に毎日顔を出し、暗くなるまで当時の主力であった10歳も年下の選手達の先頭に立って練習。帰途は屋台で若い選手達と盃を重ね、熱っぽくラグビー談議に花を咲かせていた。そのような足立さんのひたむきなラガーとしての生きざまが後進の若者を刺激し、戦後の黄金時代を築いた原動力となったといっても過言ではない。

昭和46年、愛媛思惑クラブ（40歳代以上のプレイヤー集団）が誕生するや53才の最年長者で参加、再びプレイヤーとしての活躍が始まった。また36年に協会理事に就任し、48年から51年までの四年間は協会理事長としてまたラグビー界を代表して県体協理事長をつとめる等、ラグビーを通じて県スポーツ界の振興に尽くされた功績は語り知れないものがあり、栄えある受賞となったものである。

カープのミスター赤ヘル・山本選手は今年引退したが、我が赤パンに赤ヘッドの足立さんは今もなおレッキとした現役選手である。氏の口ぐせである「好きで好きでたまらんラグビー」をいつまでも続けて頂きたい。（松前町在住。68歳）



観覧席から

卒業生から後輩のラグビーへ一言

橘笛第5号(抜抄)

★61年全国大会三回戦で本郷高とベスト8をかけて戦った。この日のために前年のサーキット・ウエイトトレーニングの上に、練習中はマスクをつけ筋力アップを図るとともに、肺、心臓、循環器の強化に努め、部員一丸となって一日一日の練習に実をいれてやってきた。しかし全国のカベは厚く、10-0で負けてしまった。何とかこのカベを破ってくれるよう毎日の練習に励んでほしい。

★時には苦しくてどうしようもない時があるけれど、それを乗り越えてこそ、喜びにつながることを信じて努力してほしい。

★今年は君達の力で昨年の本郷戦の屈辱を晴らしてもらいたい。そのためには練習しかない。やる時はやるという、けじめとやる気のある練習をしてほしい。

★練習を試合のための練習としてほしい。数多くの試合をして、練習ではできないプレーを学んでほしい。試合に勝つのは気合いだ。練習の時から声をだして頑張ってもらいたい。

★練習中、試合中に関係なく、いつも「自信」という言葉を頭においてほしい。サインプレー一つにしても、自信がないと中途半端なプレーになったり、またそれがケガに結びついてくる。失敗したとしても自信を持ってやったのなら、ガツクリこないで堂々と胸を張ればいいんだ。その失敗が成功へつながる第一歩なのだ。

★ここぞという時に、自分の持てる力を十分に出せないことほど悔しい思いをする時はない。あの時こうすればよかった、もう少し努力していたらと悔いが残ることが多いものだから。

★もっとラグビーを知ってもらいたい。都会チームよりかなり劣っていると思う。みんなでラグビーを知るために考えを出し合い研究し、自分達で

追究してほしい。四国のお山の大将であってはならない。もっとガツガツしたプレーをしてほしい。

★いま練習していることは何を意味しているのか、ということをよくつかみ、また、チームワークの大切さということを常に頭に入れて練習すること。

★三年間、とうとう一本目になれなかった。たぶんそれは他の人よりも「努力」というものが敗けていたからだと思う。努力せずに負けて泣くより、精一杯努力して勝っても負けても悔いの残らないよう、日頃の練習に頑張ってもらいたい。

★上級生は上の人がないのだから、自分自身でプレーを学び、下級生は先輩上級生から良い所を学び、そして自分で満足のいくプレーを身につけてほしい。

★今思うとよく続いたものだと思う。毎朝6時に起きて学校へ行き、帰宅はほとんど9時か10時半かという生活をしてきたからだ。しかし三年間のラグビーで忍耐力が付き、また生活が規則正しくなっていて、楽しい高校生活を過ごすことができた。

★一年に入りたての時は、こんなしんどい練習を三年間続けられるだろうかと思った。しかし、あつという間に三年間たってしまったが、苦しい練習で体力・忍耐力がついてよかったと思っている。

おわび

7月発行の本誌No.6号、「協会だより」(32頁)に誤りがありました。ここにおわびして訂正させていただきます。

■左欄本文の上から13行目。……大西和郎氏(法大)を(明大)に訂正します。

■右欄本文下から11行目。「自分に勝つために戦うのではなく、……」を「自分が勝つために……」に訂正します。

ご指摘の頼りをくださった「聖陵ラグビー部父母」の方をはじめ、同部の皆様に心からおわびします。(編集部)

大切なビフィズス菌は

あなた自身の腸内で殖やすのが理想的です。



明治メイオリゴは
フラクトオリゴ糖を主成分とする
甘さ爽やかな健康シロップです。

フラクトオリゴ糖は次のような生理的
特長を持っています。

- ①腸内のビフィズス菌を増殖します。
- ②小腸内酵素では分解されにくく、エネルギーになりにくい糖です。
- ③水溶性ダイエタリーファイバーの一種で血清中のコレステロールや中性脂肪値を低下させる効果が臨床試験で認められています。
- ④虫菌になりにくい糖です。

バイオの技術で創った
明治のフラクトオリゴ糖

メイオリゴ

Cecilia
明治製菓株式会社

●シロップ スティックタイプ 15g×30本 ●シロップ ボトルタイプ 300g入・700g入 ●顆粒 5g×30袋

〒104 東京都中央区京橋2-4-16
TEL (03)272-6511(代)



協会だより

安全対策・ルール改正等の指導者講習会

協会では8月24日、松山市番町会館において、所属各チームの指導者約40名の参加を得て安全対策と今年度改正されたルールの伝達講習会を開催して周知徹底を図った。

ラグビーにケガはつきものであるが、大きい事故は絶対にさけねばならない。そこで、日本体育協会公認コーチである伊賀上竜也氏から、指導者に必要な心がまえ、指導方法など**安全対策**のポイントについて指導を受けた。(要点)

- 事故がおきた場合にどうするか、を先づ教えておいてから、プレーの練習をさせること。
- スクラムの事故は、ボールを入れる前と、No.8がキープしている場合に多く、大半を占める。
- スクラムがくずれた時は、首の力を抜くな、ヒタイから落ちよ、すぐに手をつくこと、No.8はすばやくスクラムから離れ、押すな。
- タックルはどういう場合に、どんな時に、どのようなタックルをするか。理論的によく教えておいてから練習させること。唯々、ガムシヤラにやれという教え方はよくない。
- ルールブックを熟読しているか。ルールには、安全面に関する条項が約50か所もある。

なお、講習会当日に配布された日本協会発行の「安全対策マニュアル」の活用と、「メディカル・チェック」を励行していただきたい。

続いて、関西協会B級レフリーである阿部卓郎氏から改正されたルールについて、その目的、理由など詳細な説明があった。

昨シーズンのラグビーは、日本のみならず世界的にもキックの乱用、スクラムトライへの固執、トライよりもPG重視など、本来のパス・アンド・ランのラグビーを忘れた内容のゲームが支配的であった。こんなラグビーを続けたのでは、あくまで走って球をつなぎトライを奪う、というラグビ

ーのだご味が失われてしまう。そんな憂慮すべき事態を背景に、また前述の安全重視の面も盛り込んだ改正となったものである。

選手強化対策委員会の設置

—競技力向上へ協会組織を強化拡充—

かいじ国体の本県戦果はさんたんたるものであった。他のビッグ大会においても低迷が続いている。県体協では何とか競技力を向上しようと、各種目協会に抜本的対策を要請。当ラグビー協会でもその趣旨に則って鋭意検討を重ねてきたが、12月13日開催の理事会で**選手強化対策委員会**の設置を決定した。

この委員会は協会長自らが**委員長**となり、協会内外から広く人材を求めて**委員**を委嘱するもので、委員会は、**指導部**、**強化部**、**管理部**の三部会で構成する。各部会に**常任委員**を置いて部活動を統括するとともに、部相互の連けいを密にするための合同部会を開催する等、強力に組織活動をすすめることによって競技力を高め、レベルの高い選手、チームづくりをしようとするものである。当面は**国体代表選手**の強化に力点がかけられる。

指導部は、代表候補選手の選考、強化指導者の養成、他県の戦力分析や全国レベルの調査研究。本県の目標設定等を行う。

強化部は、強化練習計画の策定。候補選手強化のための練習会、合宿、交流試合等の実施。指導部と合同で代表選手の見直し等を行う。

管理部は、強化経費の管理と運用。競技力向上のための条件整備。健康管理体制の整備。企業・大学等に働きかけて競技環境の整備を行う。

またこの強化対策委員会とは別途に、本県ラグビー界の先輩や協会顧問から、強化対策に関して意見を拝聴するための諮問機関を設けることになった。

協会長から委員就任をお願いする方は次のとおり選出された。格別のご協力をいただきたい。

名称：愛媛県ラグビーフットボール協会選手強化対策委員会（略称・強化対策委員会）

委員長：細田 新（協会長）

委員：

（少年担当）

- 井手 盛章（日体大、松山西高教、協会理事）
- 伊賀上竜也（法大、新栄塗装、日本体育協会公認コーチ）
- 宇野 由男（日体大、北条高教、協会理事）
- 河野 大助（日体大、松山城南高教）
- 福沢 敏夫（日体大、新田高教、協会理事）
- 渡部 正治（日体大、小田高教）

（注）代表チームの監督又はコーチを選任する場合には、日本体育協会公認コーチの資格者を配慮するという日本ラグビー協会の指導方針に基づき、有資格者である伊賀上氏が会長指名の委員として選任された。

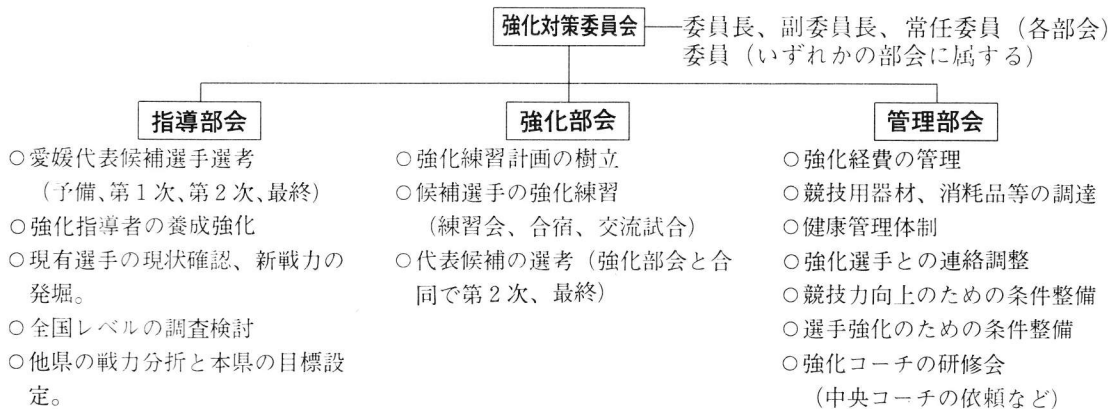
委員：

（成年担当）

- 阿部 卓郎（松商大、N T T 四国）
- 石田 邦明（法大、い志だ）
- 上岡 範雄（広大、弓削商船高専教、協会理事）
- 大野 勝英（松商大、池田興業）
- 大西 和郎（明大、オルプロート衣山、協会理事）
- 佐々木 日出文（法大、共同建設）
- 作道 利員（新田高、東京三洋、作道水道）
- 高木 修二（新田高、二神組）
- 立花 重雄（松商高、帝人）
- 松村 英介（日体大、松商大教、協会理事）
- 山崎 鉄雄（新田高、リコー、司文具）
- 山崎 文明（近大、秋田商店、協会理事）

（注）（ ）は出身校、勤務先など。

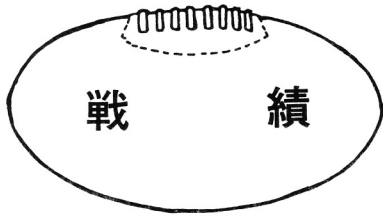
- 事務局：局長 伊賀上文男（協会理事長）
 局員 中野 節夫（協会理事書記長）
 〃 三輪田綱丸（協会会計理事）



告知板

62年3月27～29日 北条スポーツセンター
 四国地区普及強化講習会（日本協会主催）
 ○高校選手及び指導者を対象とする。

62年5月13、15、17日 松山市
 四国大学総体
 62年5月（日は未定） 県総合運動公園
 '87愛媛ラグビーカーニバル



亀岡	脇保	久保	古森	熊本(英)	菊池	FB	赤朝	沢倉	遠渡	藤部	原多	茂田	上池	FB	塚大	林松	長本	野水
						HB		TB		TB		FB						
						近藤		中島(啓)		本古		村上						
						長尾		加藤		小池		福						

▽第34回県ラグビー選手権大会

一回戦 6月15日 堀之内県営ラグビー場
新居浜磯浦グラウンド

【二部】

N T T 四 国 $24\left(\frac{15-3}{9-4}\right)$ 7 エンジョイクラブ
住友化学 $14\left(\frac{8-0}{6-0}\right)$ 0 住友鋳山
西条ノックオンク $28\left(\frac{8-0}{20-0}\right)$ 0 住友重機
松北 O B ク (不戦勝) ブラックジャック

【一部】

坊っちゃんク $17\left(\frac{17-0}{0-10}\right)$ 10 愛大医学部
愛媛大学 $15\left(\frac{6-0}{9-10}\right)$ 10 スレッドクラブ
新田クラブ (不戦勝) 八幡浜クラブ
聖陵クラブ (不戦勝) 三島クラブ

準決勝 6月22日 堀之内県営ラグビー場

【二部】

N T T 四 国 $27\left(\frac{14-9}{13-8}\right)$ 17 西条ノックオンク
松北 O B ク $8\left(\frac{4-4}{4-0}\right)$ 4 住友化学

【一部】

聖陵クラブ $18\left(\frac{8-10}{10-6}\right)$ 16 愛媛大学
新田クラブ $106\left(\frac{60-0}{46-4}\right)$ 4 坊っちゃんク

決勝 6月29日 堀之内県営ラグビー場

【一部】

新田クラブ	聖陵クラブ	松北 O B ク	N T T 四 国
$28\left(\frac{14-0}{14-0}\right)$ 0		$4\left(\frac{0-0}{4-0}\right)$ 0	
熊本(達)	野本	江副	小笠原
渡部	立栄	土岐川	岡
池田	武田	乗松	松下
田村	中島(雅)	井手	工藤
大森	宮崎	重田	渡辺
浜川	池内	門屋	田村
河本	安平	小森	松沢
田中	杉原	菅	大川

【二部】

▽第38回西日本医科学生総合体育大会

二回戦 7月24日 神鍋名色高原グラウンド
金沢大医学部 $\textcircled{7}\left(\frac{7-0}{0-7}\right)$ 7 愛媛大医学部
金沢医の抽せん勝

▽第7回四国ミニ国体

一回戦

【少年の部】 9月5日 高知県営春野運動公園球技場
全愛媛 $32\left(\frac{10-0}{22-6}\right)$ 6 全香川
全徳島 $32\left(\frac{20-0}{12-4}\right)$ 4 全高知

【成年の部】 9月6日 高知県営春野運動公園球技場
全香川 $12\left(\frac{3-0}{9-8}\right)$ 8 全愛媛
全徳島 $11\left(\frac{0-6}{11-0}\right)$ 6 全高知

決勝

【少年の部】 9月7日 高知県営春野運動公園球技場
全愛媛 $28\left(\frac{12-6}{16-6}\right)$ 12 全徳島

【成年の部】 9月7日 高知県営春野運動公園球技場
全香川 $17\left(\frac{3-3}{14-4}\right)$ 7 全徳島

▽第41回国民体育大会 (山梨)

【少年の部】

一回戦 10月13日

全山梨 $26\left(\frac{18-3}{8-4}\right)$ 7

石原
佐藤
雨宮
阿部
古屋
加藤
広瀬
長田

西永
城島
山本
池田
篠崎
渡部
山辺
一色

FW

永島
山本
池田
永井
山辺
福山
一色

FW

寺口
阿部
木谷
三浦
松田
佐賀
宮本
村山

御勅使南公園ラグビー場

9~13位決定戦 10月15日

全愛媛 $43\left(\frac{18-6}{25-0}\right)$ 6 全石川

樋川堀	} HB {	岡田新	岡田新	} HB {	桑原山崎(弘)
岩村小俣河野山本鈴木		菊川星中松	菊川星野中本		山口山崎(健)北野川崎小池田
	} TB {	山形	山形	} TB {	
		山形	山形		

西川健史 FB 柳原貴雄 近藤良二 FB 山地 茂

▽第1回中四国中学ラグビー大会

県予選 リーグ戦 愛光学園

第1日 11月1日 第2日 11月3日
愛光中学A 愛光中学B 愛光中学A 雄新中学

26 ⁽⁴⁻⁰⁾ ₍₂₂₋₄₎ 4	18 ⁽¹⁰⁻⁰⁾ ₍₈₋₈₎ 8
小池久雄 原洋一郎 繁本賢也 森信幹彦 山崎慶太 岡 孝 植木博文 岩尾洋二郎 山崎英樹 上田高広 戸田 成 宮地喜一郎 国枝武重 近藤竜次 上原 協	矢野慎二 下地真樹 宮本武直 仲松 博 佐藤 真 横井寿郎 米沢 亮 井沢周平 内田充彦 和田 誠 山地 茂 松原大輔 西川健史 島袋淳一 安田大勲
菅野康治 原洋一郎 繁本賢也 森信幹彦 山崎慶太 岡 孝 植木博文 松原大輔 山崎英樹 上田高広 戸田 成 宮地喜一郎 国枝武重 近藤竜次 上原 協	菅野康治 高岡真一 河上尚久 和田直人 道垣内伸也 富田 悟 日浦真治 小林幸雄 浅見晃久 田村昭雄 宮田和明 近藤良二 佐々木広行 守田大輔 宮川卓士

第3日 11月9日 愛光学園
愛光中学A 内宮中学 雄新中学 愛光中学B

10 ⁽⁴⁻⁴⁾ ₍₆₋₄₎ 8	18 ⁽¹⁰⁻⁴⁾ ₍₈₋₀₎ 4
小池久雄 原洋一郎 繁本賢也 森信幹彦 山崎慶太 岡 孝 植木博文 岩尾洋二郎 山崎英樹 上田高広 戸田 成 宮地喜一郎 国枝武重 近藤竜次	村上暢英 西岡清彦 山崎利幸 佐伯博和 西山徳近 峯岸 岳 松田清之 尾崎信一 山本秋男 野中祐介 高橋勇二 中川 斉 広瀬光生 藤田康紀
菅野康治 高岡真一 河上尚久 田内盛久 小林泰生 富田 悟 日浦真治 小林幸雄 大倉智由生 田村昭雄 宮田和明 宮川卓士 佐々木広行 白石雅彦	米沢 亮 下地真樹 宮本武直 仲松 博 佐藤 真 横井寿郎 矢野慎二 井沢周平 内田充彦 和田 誠 戸田 成 松原大輔 安田大勲 島袋淳一

第4日 11月16日 愛光学園
内宮中学 愛光中学B 愛光中学A 勝山中学
14⁽¹⁰⁻⁰⁾₍₄₋₀₎ 0 16⁽¹²⁻⁰⁾₍₄₋₁₂₎ 12

松田清之 西岡清彦 山崎利幸 佐伯博和 松井隆嘉 峯岸 岳 長野和広 尾崎信一 山本秋男 藤田康紀 芳野 誠 長谷川深 広瀬光生 薬師神勉 栗田 章	米沢 亮 小池久雄 山本千城 繁本賢也 仲松 博 森信幹彦 山崎慶太 岡 孝 植木博文 岩尾洋二郎 内田充彦 和田 誠 戸田統久 松原大輔 安田大勲 島袋淳一 山地 茂	村上武尚 仙波秀親 北野秀行 鎌田卓司 山本芳嗣 前田博之 松本美隆 米田智博 河辺則彦 広田 悟 稲井英夫 古川武士 西川明良 松永英二 平田 聡
--	--	--

第5日 11月22日 第6日 11月23日
愛光学園
内宮中学 勝山中学 勝山中学 雄新中学
16⁽¹²⁻⁰⁾₍₄₋₀₎ 9 16⁽¹²⁻⁰⁾₍₄₋₄₎ 4

村上暢英 西岡清彦 山崎利幸 佐伯博和 西山徳近 峯岸 岳 児玉 光 尾崎信一 山本秋男 野中祐介 野中祐介 橋本慎也 中川 斉 広瀬光生 石丸修吾 野本直秀	村上武尚 仙波秀親 北野秀行 鎌田卓司 山本芳嗣 前田博文 松本美隆 米田智博 河辺則彦 河辺則彦 廣田 悟 稲井英夫 古川武士 西川明良 松永英二 平田 聡	菅野康治 高岡真一 河上尚久 田内盛久 道垣内伸也 富田 悟 日浦真治 小林幸雄 大倉智由生 田村昭雄 宮田和明 宮川卓士 佐々木広行 白石雅彦 近藤良二
--	--	---

第7日 11月24日 県総合運動公園球技場

内宮中学 雄新中学
22⁽¹⁶⁻⁰⁾₍₆₋₄₎ 4
村上暢英 菅野康治
西岡清彦 高岡真一

山崎利幸	FW	河上尚久
佐伯博和		田内盛久
松井隆嘉		道垣内伸也
峯岸 岳		富田 悟
児玉 光		日浦真治
尾崎信一	HB	小林幸雄
山本秋男		大倉智由生
野中祐介		田村昭雄
高橋勇二		宮田和明
中川 齊		宮川卓士
広瀬光生	TB	佐々木広行
深水恭太郎		白石雅彦
柳原貴雄		近藤良二



井上明紀	FW	久保田一寿	鈴木広二	FW	黒田秀彦
陶山圭介		兵頭正信	藤田英二		岩本好司
平岡正次		井上健一	深津信也		中矢裕一
入江俊行		平和也	高橋智徳		滝野博貴
永井一彦		松本慎治	大久保泰伸		菊池一郎
日野誠己	HB	岡田 久	鈴木和英	HB	福尾浩一
大森英克		松本隆己	神高正英		城戸 稔
田村裕一郎		和氣 保	守谷英信		芝井謙次
池内 讓	TB	井上雅彦	高橋博俊	TB	中西宜史
菊川満隆		那須秀樹	山中泰典		上村直哉
山本裕人		林 信雄	井手恵一郎		山本秀時
武安政幸	FB	佐尾 保	合田達也	FB	魚部 正

▽第66回全国高校ラグビー大会

東予地区予選

一回戦 10月5日 西条高
 新居浜東 24($\frac{8-3}{16-0}$) 3 西 条

代表決定戦 10月26日 西条高
 三 島 25($\frac{13-0}{12-0}$) 0 新居浜東

中予地区予選

一回戦 10月26日 堀之内県営ラグビー場

松山西 17($\frac{7-4}{10-4}$) 8 松山聖陵
 愛 光 16($\frac{4-0}{12-4}$) 4 松山北
 松山東 38($\frac{22-0}{16-0}$) 0 伊予農
 松山工 4($\frac{4-0}{0-0}$) 0 松山商

代表決定戦 11月2日 堀之内県営ラグビー場

松山西 43($\frac{16-0}{27-0}$) 0 愛 光
 松山工 18($\frac{12-0}{6-0}$) 0 松山東

南予地区予選

代表決定戦 10月26日 吉田高
 八幡浜 38($\frac{16-0}{22-4}$) 4 宇 和
 野 村 58($\frac{18-0}{40-0}$) 0 吉 田

県予選

一回戦 11月9日 伊予三島総合運動公園

松山城南	野 村	三 島	八幡浜
67($\frac{21-0}{46-0}$) 0		16($\frac{0-4}{16-0}$) 4	
水谷哲彦	水本和寿	山中肇次郎	山本佳永
山下省三	藤本浩司	鈴木 剛	宇都宮久昭
真鍋光利	松本洋一	鈴木敏弘	松本光司

新 田 16($\frac{10-0}{6-0}$) 0 松山工 6($\frac{6-0}{0-0}$) 0 北 条 松山西

西永和成	FW	中島裕士	阿部貢三	FW	二宮祐司
越智孝行		山本裕司	網矢行成		門田 孝
山本幸三		戒能 仁	脇村 毅		清水智久
一色 隆		織田哲也	大島 功		杉野 猛
原田賢哉		玉岡嘉孝	南方和生		西原征記
渡部哲夫	TB	渡辺 剛	徳永雄樹	TB	小島大典
山辺省憲		越智大輔	玉井良明		井上浩志
池田茂幸		木山政晴	篠崎賢治		吉原千裕
岡田英二	HB	北谷龍治	山本昭樹	HB	白形利文
新瀬文久		岸 久則	山形佳彦		中田浩之
河内博之		吹本伸哉	田中 亮		大空正典
門田英典	TB	田村喜八郎	尾崎晃一	TB	久保誠治
中村 仁		横山文博	横本和久		松本彰夫
小谷 光		浜田憲一	月岡智雄		松枝直人
星野雅隆	FB	安本 淳	岡本佳人	FB	山内将之

準決勝 11月16日 県総合運動公園

北 条 13($\frac{7-4}{6-0}$) 4 松山城南 62($\frac{30-0}{32-0}$) 0 新 田 三 島

阿部貢三	FW	水谷哲彦	西永和成	FW	山中基次郎
網矢行成		山下省三	越智孝行		鈴木 剛
脇村 毅		真鍋光利	山本幸三		鈴木敏弘
中西則之		佐田拓雄	一色 隆		鈴木広二
南方和生		陶山圭介	原田賢哉		藤田英二
玉井良明	TB	平岡正次	渡部哲夫	TB	深津信也
大島 功		井上明紀	山辺省憲		高橋智徳
篠崎賢治		永井一彦	池田茂幸		大久保泰伸
山本昭樹	HB	日野誠己	岡田英二	HB	鈴木和英
横本和久		大森英克	新瀬文久		神高正英

徳永雄樹	} T B	山本裕人	河内博之	} T B	守谷英信
尾崎晃一		田村裕一郎	門田英典		高橋博俊
田中 亮		菊川満隆	中村 仁		山中泰典
月岡智雄		東山貴志	小谷 光		井手恵一郎
山形佳彦		F B	池内 譲		星野雅隆

決 勝 11月24日 県総合運動公園

新田 北条
20 $\left(\frac{4-6}{16-0}\right)$ 6

西永和成	} F W	阿部貢三	} H B	山本昭樹
越智孝行		網矢行成		横本和久
山本幸三		脇村 毅		徳永雄樹
一色 隆		中西則之		尾崎晃一
原田賢哉		南方和生		田中 亮
渡部哲夫	} T B	玉井良明	} F B	月岡智雄
山辺省憲		大島 功		山形佳彦
池田茂幸		篠崎賢治		
岡田英二				
新瀬文久				
河内博之				
門田英典				
中村 仁				
藤田信之				
星野雅隆				



※新田は9年連続27度目の優勝

**▽第37回全国大学地区対抗ラグビー大会
県予選**

決 勝 11月3日 堀之内県営ラグビー場

愛媛大学 松山商大
 $\left(\frac{8-0}{4-12}\right)$ 12
愛媛大の抽せん勝

尾 島	} F W	戸 川	} H B	河 野
日 尾		川 井		岡 本
壺 内		辻 野		三 好
富 永		福 原		田 辺
藤 森		瀧 本		徳 永
渡 部	} T B	上 田	} F B	佐 藤
藤 本		穴 山		氏 橋
辻		河 野		
田 窪		岡 本		
宮 地		三 好		
井 上	} T B	田 辺	} F B	
客 本		徳 永		
井 関		氏 橋		
玉 井				
乙 川				



四国地区一次予選

11月9日 徳島工高第2グラウンド
愛媛大学 4 $\left(\frac{0-0}{4-0}\right)$ 0 徳島大学

四国地区予選 決勝

11月16日 愛媛県総合運動公園
愛媛大学 30 $\left(\frac{14-9}{16-4}\right)$ 13 高知大学

中四国地区予選

決 勝 11月23日 広島県営ラグビー場
徳山大学 20 $\left(\frac{10-0}{10-6}\right)$ 6 愛媛大学

▽第17回全国高専ラグビー大会

四国地区予選 リーグ戦

第1日 11月9日 徳島工高第2グラウンド
新居浜高専 18 $\left(\frac{10-0}{8-4}\right)$ 4 阿南高専

第2日 11月16日

最終日 11月23日

弓削商船		東予市総合運動公園		
阿南高専	弓削商船	新居浜高専	弓削商船	
24 $\left(\frac{6-4}{18-0}\right)$ 4		39 $\left(\frac{9-3}{30-0}\right)$ 3		
浜 田	} F W	生 森	} F W	生 森
戸 川		東 田		東 田
大 頭		西 本		西 本
岩 佐		倉 本		倉 本
荻 野		越 智		木 村
松 下	} T B	杉 本	} T B	小 西
湯 浅		小 西		越 智
志 賀		佐 野		佐 野
向 井		岡 野		白 石
西 村		永 木		木 村
松 永	} F B	門 野	} F B	桑 田
尾 崎		松 井		藤 村
生 駒		桑 田		山 口
喜 井		板 井		飯 山
尾 田		成 島		岩 田

※新居浜高専は四国代表として全国大会に初出場

**▽第39回全国社会人ラグビー大会
県予選**

決 勝 11月16日 磯浦グラウンド
住友重機 (不戦勝) 住友鉱山

四国地区予選

決 勝 11月30日 磯浦グラウンド
アジア共石 84 $\left(\frac{32-0}{52-3}\right)$ 3 住友重機

【編集後記】

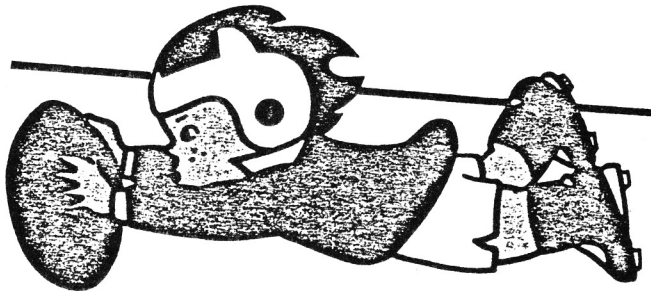
新しい年が明けました。今年はウサギ年、ピョンピョン跳び回る動作はラグビーで言えばスクラムハーフやスタンドオフに例えられます。が、昨年の虎をFWに置きかえると、線の細さ、弱々しさはどうしても否めません。

ともあれ、うさぎのように大きく飛び回ることができる飛躍の年にしたいものです。

さて、第7号をお届けします。この号が発刊される頃には全国高校、高専大会をはじめ、社会人、大学の各全国大会も、そして日本選手権も終了してラグビー日本一のチームも決定していることと思います。全国大会に出場した郷土の新田高校、新居浜工専も残念ながら一回戦の壁を破ることが出来ませんでした。全国大会でのトップ級の試合を見るにつけまだまだ私たち愛媛ラグビーが果たさなければならないことの多さに気づきました。しかしそれらの全てを一度に達成することは不可能です。出来ることから手をつけてゆかなければなりません。その第一として国体などの実力向上を目標にしたチーム作りをするため設置された「愛媛県選手強化対策委員会」の今後の活動も期待されます。

また、中学ラグビーもやっと念願がかなって波に乗り始めました。今年こそ関西中学大会への出場を実現したいものですし、今春松山市内に開校する松山中央高校にも是非ラグビー部を創設したいものです。これら一つ一つの課題を達成してゆくことがやがて全国的なハイレベルの域に到達してゆく道ではないかと思えます。そのための縁の下、舞台裏での役割りの一つを機関誌編集部も果たしたいと思っています。本年もよろしくお願いします。

(中野・二神)



えひめ
RUGBY No. 7

昭和61年12月印刷

昭和61年12月発行

編集発行 えひめRUGBY編集委員会
愛媛県ラグビーフットボール協会
愛媛県松山市土居田町575-3
新栄塗装工業(株) 気付
TEL (0899) 71-1818
印刷 (有) 二葉印刷所
松山市久万ノ台219の2
TEL (0899) 25-0338
(0899) 25-2189



くらしの心を大切に
日本の家 パナホーム

生活提案するパナホーム

住まいは子供を育むアトリエ、明るい子供がのびのび育つ家づくりを

住まいとは、家族がのびやかに対話できる生活空間であるのが理想です。サンAは、子育てや新しい暮らし方を真剣に考えている、ニューサーティ世代のファミリーにおすすめする住まいです。

サンAは住まいを通じて、親子のふれあいがあふれる暮らし方をご提案します。

明るい子供 育つ家
スカイライン
SUNA



住まいに関するご相談・お問い合わせは…



ナショナル住宅代理店
建設業者登録 知事第2340号 宅地建物取引業者知事免許第809号
フタガミホームズ 株式会社
■本 社 / 松山市南斎院町190 ☎(0899) 73-3851(代)
■宇和島営業所 / 宇和島市祝森甲3082 ☎(0895) 27-0458
ナショナル住宅産業株式会社松山営業所
松山市朝生田町432番地 ☎(0899) 46-1951

新技術—時代は **VISTA**

ラグーたちに捧げたい男の誇りです。



誰よりも彫り深き気品…トヨタの最高級・パーソナルセダン

新クレスタ スーパーレーセント・ツインカム24

感性と合理性の融合した新世代のインテリジェンス

新ビスタ

4ドア・ハードトップ2000VX



クレスタ ビスタ MR2 ターセル MRX プリザード

トヨタビスタ愛媛

本社 / 松山市中央1丁目19-32 TEL (22) 8888

新居浜・今治・大洲・宇和島